

— 暦の上では冬に入り 山や森が錦に染まる頃 —

新暦十一月初旬の立冬を境に、冬の季節に入ります。旧暦の上では仲冬にあたり、本格的な冬を迎え、霜が降りる頃ということで「霜月^{しもつき}」と呼ばれます。また農事を終え、神楽を奉納してきたことから、「神楽月^{かぐらづき}」ともいわれています。おおむね初旬は晴天に恵まれ、中旬は紅葉の見頃となり、下旬には落ち葉が舞い厳しい冬が間近に感じられるようになります。

しちごさん 【七五三】 — 11月15日(旧暦11月15日) —

「七五三」とは、三歳の男の子と女の子、五歳の男の子、そして七歳の女の子が十一月十五日に氏神や神社にお参りして健やかな成長と健康を祈るといふ行事です。もともとは宮家や公家、武家で行われていた祝いの儀式で、三歳の「髪置^{かみおき}の式」、五歳の「袴着^{はかまぎ}の式」、七歳の「帯解^{おびとき}の式」というように、それぞれ単独の祝い事でした。これらの儀式は、各家で吉日を選んで行われていましたが、江戸時代末期になると、祝いを十一月十五日に定めて祝うようになりました。

11月の四字熟語 【小春日和^{こはるびより}】

初冬の頃の、晴れて春のように暖かで穏やかな天候のこと。「小春」は陰暦十月の異称。「日和」は晴れたよい天気のこと。



11月の本「十一月の扉」 高楼方子／著

偶然見つけた素敵な洋館で、2か月間下宿生活を送ることになった爽子。個性的な大人たちとのふれあい、そして淡い恋からうまれたもうひとつの物語とで織りなされる、優しくあたたかい日々。



発行:福音館書店 場所:ティーンズコーナー(K 効)

参考文献:「絵でつづるやさしい暮らし歳時記」日本文芸社

:「新明解四字熟語辞典 第二版」三省堂

11月

2023年 *teen's* 季節のカレンダー